

資格取得は自分との闘い ～モチベーション維持のポイントは？～

～一級建築士～

1. 受験の動機・資格取得までの道のり

私の受験動機は、「職務に一級建築士の知識を活かすことができるから」「みんな取るものだから」という他律的なものでした。ここでは、そんな私が一級建築士の資格取得までの闘いで一番大変だった「モチベーション維持」をメインでお話したいと思います。以下が合格までの経緯です。

H28年度：社会人1年目。仕事・遊びに多忙。

H29年度：引き続き仕事・遊びに多忙。1月にしぶしぶ予備校契約（学科独学プラン）。

H30年度：独学で孤独な闘いを開始するも身が入らない。試験直前に追い込むも、もっと計画的にやればよかったと後悔。学科不合格。リフレッシュ名目で遊んでいたら、来年に向けた勉強開始が結局12月に。

R元年度：悔しさを糧に勉強との向き合い方を試行錯誤。周囲の人に精神的に支えてもらい、なんとか学科合格。学科突破で少し自信がつく。製図は予備校に通い、心を整え楽しみながら計画的に準備し、製図合格。

2. 資格取得に向けたアドバイス

【モチベーション対策】

私は学科の勉強がとにかく嫌いでした。大学を卒業し、卒論・卒業設計・公務員試験・就活から一気に解放され、自由で新鮮な社会人生活が楽しくて仕方なく、「20代の一番華の時期になぜ勉強なんかしないといけないの！」とっていました。職場では資格取得を勧められる一方、仕事に資格の知識を活かすイメージが湧かず、「足の裏の米粒（取らないと気持ち悪いけど取っても食べられない）」なんて噂もあり、受験動機が自発的なものでなかったため、試験対策に積極的に打ち込めずにいました。

それでも漠然と、いつかは取りたいし、自由な時間が多い今のうちに受けた方がいいだろうと考えて受験を決めました。予備校に大金を払い、全ての休日捧げ、図書館などに自分を監禁するなど、いろいろ試しました。しかし、最後までなぜ一級建築士を受けようとしているのか、自分で決めたのにわからずにいました。その結果、1年目は学科不合格で悔し涙を流し、2年目も計画的な試験勉強ができず、試験直前に余裕のない勉強スケジュールを立て、本

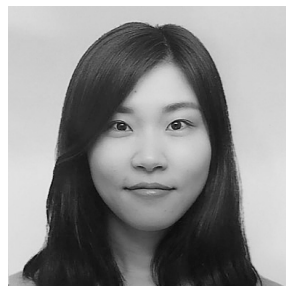
当に吐き気を感じるほどの勉強と向き合っていました。なんとか学科合格後、比較的好きな製図を始めましたが、令和元年度は台風の影響で試験が2か月伸びたため、尚更精神的に苦しみました。

そんな私の最後のモチベーションの持ち方は、「また悔しい思いをしたくない」「合格して応援してくれる上司や友人、家族に喜んで欲しい」「いつか資格を獲って良かったと思える仕事をしたい」「できたら、マイホームを設計したい」というものでした。

モチベーション維持のアドバイスとして受験生の方にお伝えできるとしたら、1つでいいから『〇〇したい』という自発的な意志を持つこと」です。誘惑に負けずに何か月も勉強を続けるには、自分の自発的な意志が何よりも強い力になります。勉強したくないと精神的に負けそうな時は、少し休憩した後、「したくない」に勝つような、自発的でポジティブな動機・意志を持って、取り組んでみてください。

【学科試験対策】

短い時間でいかに効率的かつ網羅的に勉強するかを考え、勉強の計画を立てました。「テキストによる体系的な知識のインプット」「これだけ見返せばいい！という自分専用ノート作成」「問題集」「過去問3回」を、オフ時間+さぼる自分を想定した予備日を含め、通勤時間、職場の昼休み、休日を使って細かく計画を立てました。過去問だけ解けばよいとよく勧められますが、過去問は問題の順番が内容ごとでなく、私はうまくインプットできず1年目失敗したため、2年目では、テキストと問題集を使って体系的に理解して頭に入れてから過去問を解きました。また、試験日の電車でも一気に見直せるように苦手な部分をまとめたノートを作成し、過去問の2・3回目は間違った箇所だけ解き時短を図りました。



国土交通省 都市局 まちづくり推進課
事業管理係長
なかむら じゅんこ
中村 純子

(取得した資格：一級建築士)
(資格取得年度：令和元年度)

【製図試験対策】

学生時代に図面を手描きで描くことが多く慣れていたため、構造計画・防火区画等の知識習得とエスキスを中心に課題に取り組みました。エスキスでは用途、動線、設備・構造等総合的な計画が求められ、時間内にまとめるための取捨選択の判断力を養う必要があります。数をこなし、課題内容に沿ってどう判断するか、考え方を習得するように心がけました。

3. おわりに

対策内容がわかっている、1年近く自分を律して取り組むためには強い意志と根気が必要不可欠であり、問題を解くよりも自分との闘いの方が圧倒的に大変です。苦しみながらもなんとか資格を獲得した達成感や、周囲の人からの祝福、家族の涙は、何にも代えがたく、自分の成長と自信に繋がりました。最後に、弱い自分を支えてくれた皆様へ、感謝の気持ちを申し添えたいと思います。

受験生の皆さんも自分との闘いに勝ち、資格と強くなった自分を獲得してください。応援しています！